



# 認 定 書

国住指第 1875 号

平成 20 年 10 月 20 日

因幡電機産業株式会社

代表取締役社長 守谷 承弘 様

国土交通大臣 金子 一義



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項に  
~~おいて準用する場合を含む。~~）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号  
ハ〔防火区画貫通部 1 時間遮炎性能〕の規定に適合するものであることを認める。

## 記

### 1. 認定番号

PS060FL-0432

### 2. 認定をした構造方法等の名称

給・排水管／モルタル充てん／無機質フェルト・ポリオレフィン系樹脂不織布付無  
機質混入改質アスファルト張／硬質ポリ塩化ビニル管／床耐火構造／貫通部分（中  
空床を除く）

### 3. 認定をした構造方法等の内容

別添のとおり

（注意） この認定書は、大切に保存しておいてください。

(別 添)

## 1. 構造名

給・排水管／モルタル充てん／無機質フェルト・ポリオレフィン系樹脂不織布付無機質混入改質アスファルト張／硬質ポリ塩化ビニル管／床耐火構造／貫通部分(中空床を除く)

## 2. 寸法及び形状等

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
開口部	形状：円形 面積：0.0491m <sup>2</sup> 以下(φ0.250m以下)
占積率 (開口面積に対する断面積の総合計の割合)	[1] 直管仕様 53.6%以下(0.0263m <sup>2</sup> 以下) [2] 継手仕様 59.0%以下(0.0290m <sup>2</sup> 以下)
貫通する床の構造等	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) ALC ・厚さ 100 以上 (2) コンクリート ・厚さ 100 以上

## 3. 材料構成

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
給・排水管 管 直管	(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1) 硬質ポリ塩化ビニル管(VP, VU, HIVP 管) ・規格 JIS K 6741 ・外径 166.0 以下 ・内径 148.2 以下 ・肉厚 10.3 以下 (2) 水道用硬質ポリ塩化ビニル管(VP, HIVP 管) ・規格 JIS K 6742 ・外径 166.0 以下 ・内径 148.0 以下 ・肉厚 10.2 以下 (3) 耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管(HT 管) ・規格 JIS K 6776 ・外径 166.0 以下 ・内径 148.2 以下 ・肉厚 10.3 以下

(別添-1)

項 目		申 請 構 造	
給・排水管	管	継手	(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1) 排水用硬質ポリ塩化ビニル管継手 (DV 管) ・規格 JIS K 6739 ・外径 177.5 以下 (縦部)、150.5 以下 (横部) ・内径 166.3 以下 (縦部)、141.1 以下 (横部) (2) 水道用硬質ポリ塩化ビニル管継手 (TS 管) ・規格 JIS K 6743 ・外径 190.0 以下 (縦部)、133.5 以下 (横部) ・内径 166.4 以下 (縦部)、115.0 以下 (横部) (3) 耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管継手 (HT 管) ・規格 JIS K 6777 ・外径 177.5 以下 (縦部)、150.5 以下 (横部) ・内径 166.3 以下 (縦部)、141.1 以下 (横部)
			(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1) 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP, VU, HVP 管) ・規格 JIS K 6741 ・外径 166.0 以下 ・内径 148.2 以下 ・肉厚 10.3 以下 (2) 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (VP, HVP 管) ・規格 JIS K 6742 ・外径 166.0 以下 ・内径 148.0 以下 ・肉厚 10.2 以下 (3) 耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管 (HT 管) ・規格 JIS K 6776 ・外径 166.0 以下 ・内径 148.2 以下 ・肉厚 10.3 以下
			(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1) 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP, VU, HVP 管) ・規格 JIS K 6741 ・外径 140.8 以下 ・内径 126.8 以下 ・肉厚 8.0 以下 (2) 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (VP, HVP 管) ・規格 JIS K 6742 ・外径 114.6 以下 ・内径 101.4 以下 ・肉厚 7.6 以下 (3) 耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管 (HT 管) ・規格 JIS K 6776 ・外径 140.8 以下 ・内径 126.8 以下 ・肉厚 8.0 以下

項 目		申 請 構 造
給・排水管	被覆材	<p>[1] 無機質フェルト・ポリオレフィン系樹脂不織布付無機質混入改質アスファルト  ・被覆長さ 300 以上(直管仕様)  270 以上(継手仕様)</p> <p>[1]-1 無機質フェルト</p> <p>[1]-2 ポリオレフィン系樹脂不織布付無機質混入改質アスファルト</p> <p>[2] ジョイントテープ</p>
	継手	<p>[1] 無機質フェルト・ポリオレフィン系樹脂不織布付無機質混入改質アスファルト  ・被覆長さ 直管用被覆材：A/継手上部接続，B/継手横部接続，C/継手下部接続  被覆材付継手：A'/継手上部，B'/継手横部，C'/継手下部  として <math>A+A'</math>，<math>B+B'</math>，<math>C+C' \geq 300</math> (300 以上)  ※ 直管用被覆材と接合部の被覆材長さの合計が 300 以上</p> <p>[1]-1 無機質フェルト</p> <p>[1]-2 ポリオレフィン系樹脂不織布付無機質混入改質アスファルト</p> <p>[2] ジョイントテープ</p>

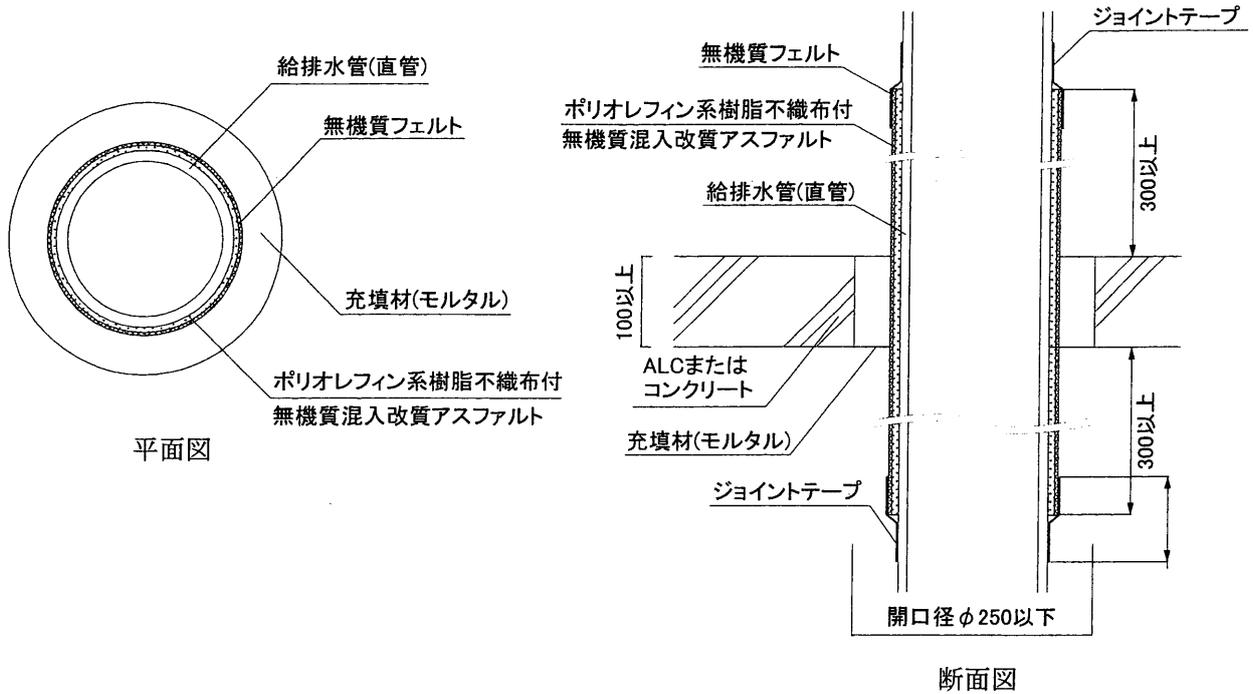
(寸法単位:mm)

項 目			申 請 構 造
給・排水管	被覆材	継手	[1] 無機質フェルト・ポリオレフィン系樹脂不織布付無機質混入改質アスファルト ・被覆長さ 160 以上 [1]-1 無機質フェルト  [1]-2 ポリオレフィン系樹脂不織布付無機質混入改質アスファルト  [2] ジョイントテープ
防火措置材料	充てん材	材質	モルタル
		調合	ポルトランドセメント：細骨材（珪砂等）：水 ≒ 1：3：0.4～0.8（構成比）
		充てん厚さ	100 以上

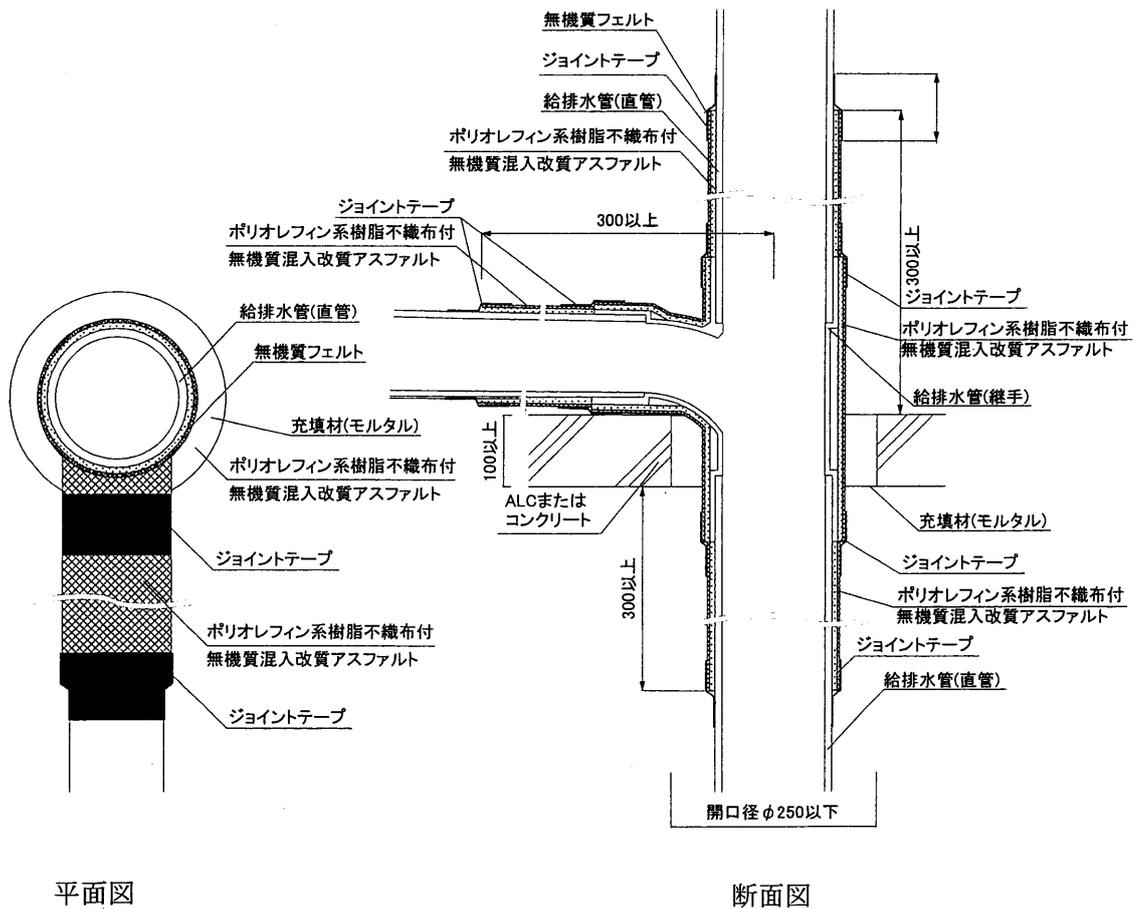
4. 構造説明図

(寸法単位：mm)

<直管仕様の場合>



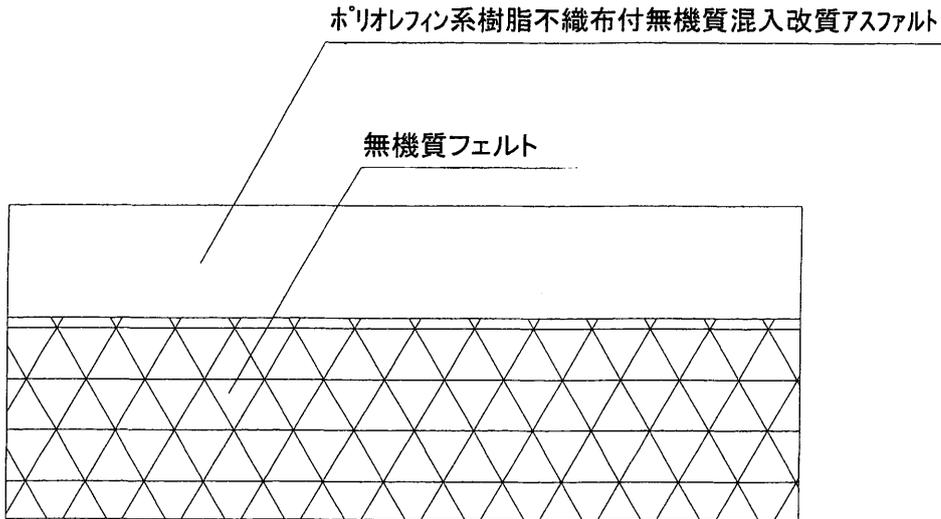
<継手仕様の場合>



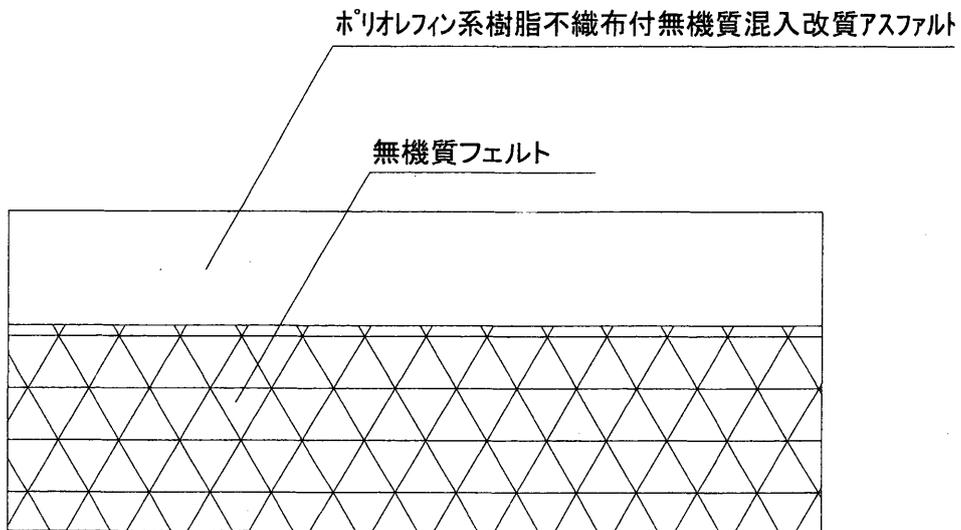
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

被覆材の断面詳細図  
(直管部, 継手(縦部, 横部))

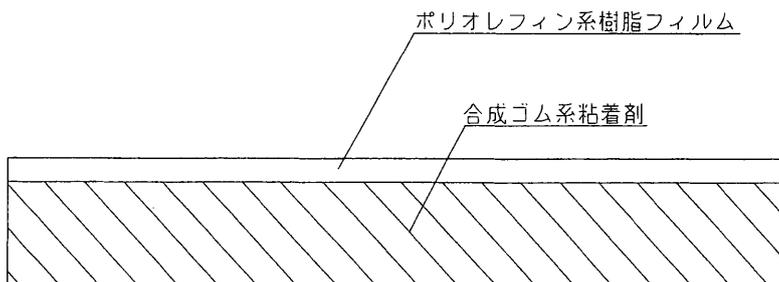
(寸法単位: mm)



被覆材の断面詳細図(継手部)



ジョイントテープの断面図



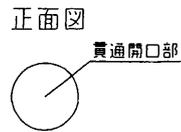
注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

5. 施工方法等

(寸法単位：mm)

直管の場合

- ①貫通開口部の使用配管のサイズ及び  
占積率を考慮して貫通開口部を設ける。

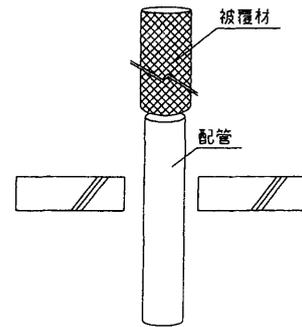


断面図



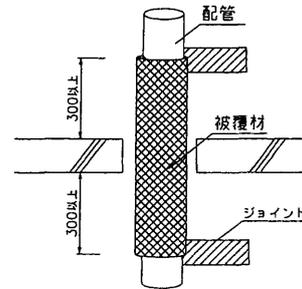
- ②配管の設置

被覆材を予め使用する配管に挿入する。  
被覆材付き配管を設置し、支持・固定する。



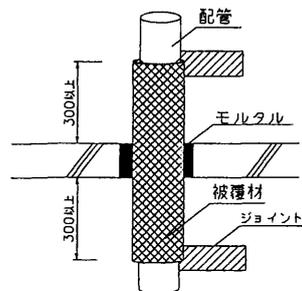
- ③ジョイントテープの巻きつけ

被覆材の端部はジョイントテープで必ず  
巻き付ける。



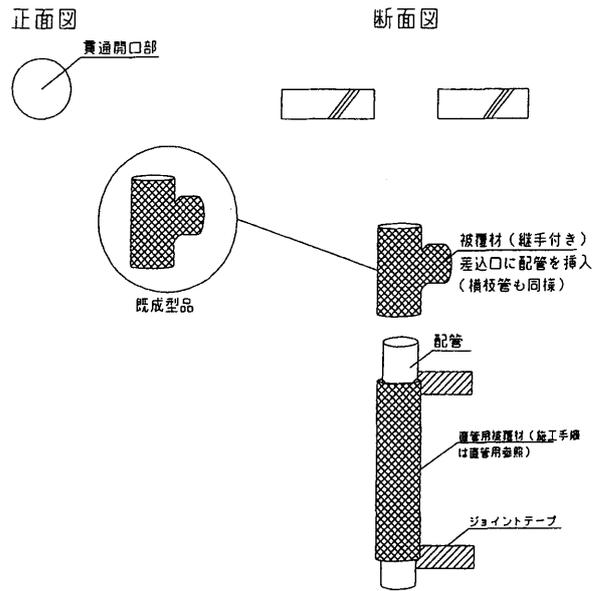
- ④モルタルの埋戻し

モルタルが下に落ちないように当て板を予め  
設置。貫通開口部と配管の隙間をモルタル埋  
戻しする。埋め戻し部に空隙や隙間がない事  
を確認。最後に当て板を外して仕上げる。



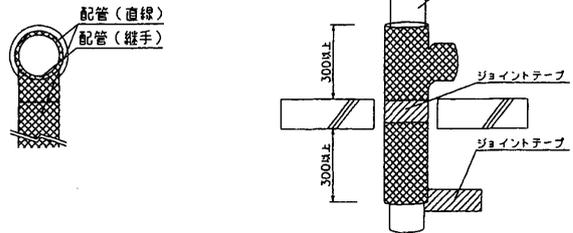
継手を使用する場合

- ①貫通開口部の使用配管のサイズ及び占積率を考慮して貫通開口部を設ける。



②配管の設置

直管は被覆材を予め使用する配管に挿入する。被覆材付き継ぎ手と接合後、配管を設置し、支持・固定する。ジョイントテープはモルタルの埋め戻し前に巻き付けておく。



④モルタルの埋戻し

モルタルが下に落ちないように当て板を予め設置。貫通開口部と配管の隙間をモルタル埋戻しする。埋め戻し部に空隙や隙間がない事を確認。最後に当て板を外して仕上げる。

